

kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.48

第45期(2009年10月期)第2四半期号

2Q	2009.2	KE47	【仙台】個人投資家説明会を実施(三菱UFJ証券)	
		KE47	関西ノムラ資産管理フェアに出展	
		KE47	JAI資産運用フォーラムに出展	
			平成21年10月期第1四半期の有価証券評価損について発表	
2009.3	KE47	東証IRフェスタ2009に出展		
		平成21年10月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正について発表		
	KE47	【札幌】個人投資家説明会を実施(札幌証券取引所)		
		第45期(2009年10月期)第1四半期決算発表		
	KE47	本邦初、排出量取引付コミットメントファシリティ設定		
	KE47	サンクスフェア2009:中標津(3/28)を皮切りにスタート		
2009.4	KE47	ナラサキリースなど建機レンタル会社4社の子会社化について発表		
	KE47	入社式／新人研修		
	KE47	野田集約センター(千葉県野田市)を開設		

3Q	2009.5	イベント	イベントジャパン2009に出展	
		社内イベント	サンクスフェア in 新潟を開催	
2009.6			平成21年10月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正について発表	
			第45期第2四半期決算発表	
		KE47	【東京】第45期第2四半期決算説明会を実施(アナリスト協会)	
		KE47	【大宮】個人投資家説明会を実施(野村証券) 大阪中央営業所(大阪市此花区)を開設	
2009.7		社内イベント	サンクスフェア in 静内・函館・石巻を開催	
		社内イベント	サンクスフェア in 秋田を開催	
			株なびカンファレンス(個人投資家説明会)に出展 7/11(土)	
		社内イベント	サンクスフェア in 伊達・滝川・福島 3営業所とも7/11(土)	
		社内イベント	サンクスフェア in 八戸 7/18(土)～19(日)	

凡例  IR関係  イベント  社内のイベント  関連情報をカナモトエグザミネーターVol.47に掲載
 ※青文字:本号4ページに関連記事を掲載 ※今後のスケジュールにつきましては実施日を記載

とってもいいモノ・読者プレゼント

カナモト坊やが大人気です。たくさんのご応募を頂戴し、その後もご要望が引きも切りません。生みの親として本当に有り難く思っています。そこで前回同様、鞆にマスコットとしてぶら下げる等、大々的にカナモトの宣伝にご協力をお願いする100名様を大募集です。右の写真はほぼ現物大。携帯の根付やキーホルダーにするには少々デカイですが、モノが見当たらないなんて事がなくなることを請け合いです。P.10の写真は、野村証券のKさんに可愛がっていただいている坊や。他にもウェディングドレスとピンクのワンピースの女の子バージョンが…。とっても可愛いのですが、坊やが将来、お嬢ちゃまになっちゃうのではと少々心配です。

坊やにはやんちゃが過ぎて脱走癖のあるものがあるようです。円筒形金具からリングが抜け落ちることがありますので、ペンチでかき止めるなど、お行儀よく飼っていただければ幸いです。お申込みの締め切りは8月14日の当日消印有効です。なお、当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



第45期(2009年10月期)第2四半期決算財務ハイライト (当社グループ連結決算)

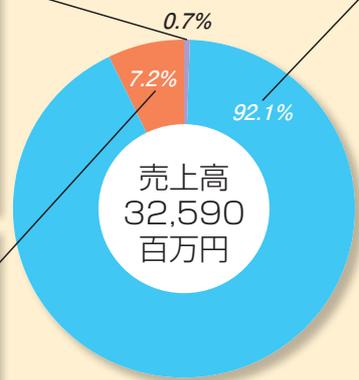
情報通信関連・その他事業 227百万円

急激な不況によるユーザーの経費削減傾向にあったこと、メーカーの在庫調整などによる廉価なパソコンが出回ったことなどから、売上高は対前年当該期比16.7%減となりました。



鉄鋼関連事業 2,338百万円

建築需要の見込まれた道央圏も一向に回復せず、当第2四半期連結累計期間の売上高は対前年当該期比14.3%減となりました。

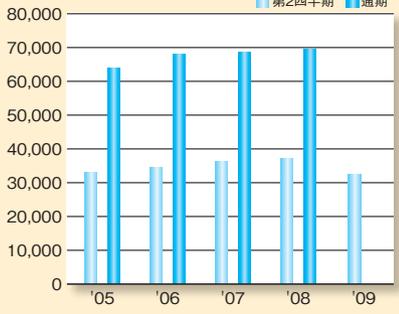


建設関連事業 30,025百万円

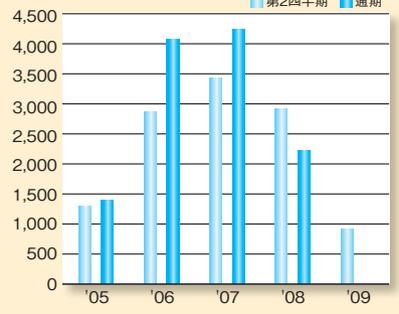


各地域で売上シェアは伸長させたものの、絶対的な建設需要の減少から競争が激化したうえ、需給バランスが崩れている機種を中心にレンタル単価の下落が続くといった傾向が如実に現れた結果となりました。

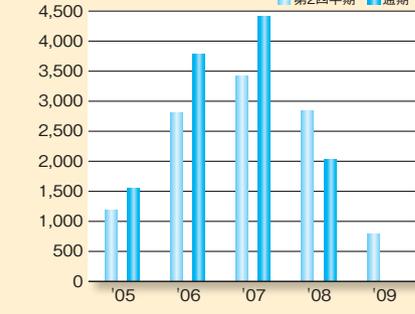
売上高



営業利益



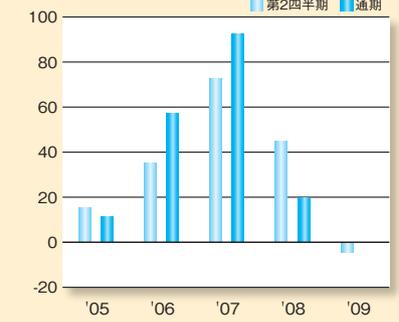
経常利益



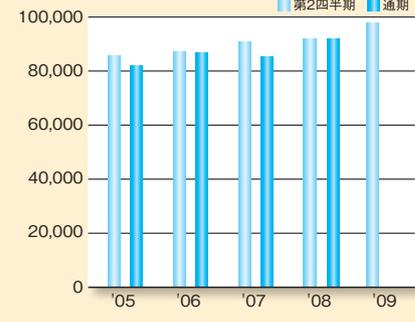
当期純利益



1株当たり当期純利益(EPS)



総資産



第2四半期決算説明会を実施しました

6月8日、東京証券取引所6Fの(社)日本証券アナリスト協会会議室で機関投資家向け第2四半期決算説明会を開催。機関投資家の方々に、取締役執行役員経理部長の卯辰伸人から第2四半期の決算概要や通期見通しなどについてご説明しました。

主要な質疑応答は以下のとおりです。

① 景気対策として見込まれる公共事業の当社業績への影響は?



決算概要を説明する経理部長・卯辰伸人

現在、内需拡大策として多くの公共事業が発表されており、今後のレンタル需要も期待できるが、当社ではこれらの公共事業が本格化し、実際にレンタル需要が

表出するのは夏以降と予測している。従って当期(2009年10月期)の業績見通しには多くを見込んでいない。

② 拠点展開はどうだったか?

拠点展開については4月に野田集約センター(千葉県野田市)、6月には大阪中央営業所(大阪市此花区)を新設するなど、当社が従前から重点地域としている首都圏および関西圏に大型拠点を新店することができた。今後は両地域において一層の需要取り込みを目指したい。また、営業エリアとシェアの拡大を同時に進めるためにはM&Aが即効性が高い。こちらも随時進めたい。

また、説明会以降、1週間を掛けて機関投資家訪問を実施いたしました。**ka**

大宮で個人投資家説明会を開催しました

前述の機関投資家説明会の翌日、6月9日(火)に野村證券大宮支店で個人投資家説明会を開催いたしました。

「カナモト」の知名度が決して高くはない関東圏での説明会ということもあり、ご来場いただいた皆様には当社の事業概要とともに、建機レンタル業界や足元の業績などについてもご説明申し上げました。

説明会の模様は当社IRサイト(www.kanamoto.ne.jp)でご覧いただけます。**ka**



ご盛況いただいた大宮での個人投資家説明会の様子

大阪中央営業所を開設しました

阪神淡路大震災対応の出荷基地として1995年に開設した北港機械センターは、その隣接地に関西圏の最大の拠点となる大阪中央営業所に



関西地区の大型拠点、大阪中央営業所

姿を変え、6月11日に新たに開設いたしました。同営業所は高速道路の出入口や主要な幹線道路から近距離にあり、各地への出荷が

迅速に行える良好なアクセス環境にあります。また、広大な敷地には汎用機から小型機械まで、幅広いレンタルアイテムを取り揃えるなどラインナップの強化を図っています。

今後も厳しい経営環境が続くと想定されますが、きめの細かい営業活動で需要を取り込み、引き続き業績回復に向けて社員一同邁進いたします。**ka**

[第2四半期の累計連結業績]

国内景気浮揚策は当社の第2四半期までの期間内に大きく反映されることはありませんでした。絶対的な建設需要の減少から、建機レンタルについても各地で競争が激化したこと、また需給バランスが崩れている機種を中心にレンタル単価が下落傾向にありましたが、当社グループ一体となって営業強化に努めました結果、3月9日発表の修正業績予想に対し、第2四半期累計連結売上高は僅かながら上回りました。なお、一部地域的な爬行がありましたものの、後述のとおり各地域でシェアを相応に伸長させることができたと判断しております。

この結果、2009(平成21)年10月期第2四半期の連結業績は、連結売上高が325億90百万円となりました。

一方、利益面につきましては、レンタル原価の遞減効果、諸経費の縮減などから営業利益、経常利益ともに修正業績予想を若干上回り、連結営業利益は9億21百万円、連結経常利益は7億93百万円となりました。最終純利益については投資有価証券評価損を第1四半期、第2四半期と連続して計上するに至り、累計で5億86百万円を特別損失に計上したことなどから、当第2四半期連結純損失は1億43百万円となりました。

[事業種類別セグメントの業績]

建設関連事業

建機レンタルの地域別売上高の対前年当該期比は、北海道地区9.3%減、東北地区8.8%減、関東地区2.7%増、近畿中部地区7.3%減、九州沖縄地区0.7%減と、各地域で売上シェアは伸長させたものの、全国的に建設需要が減少し続け、少ないレンタル需要に競争が激化し、レンタル単価の下落が続くといった傾向が如実に現れた結果となりました。

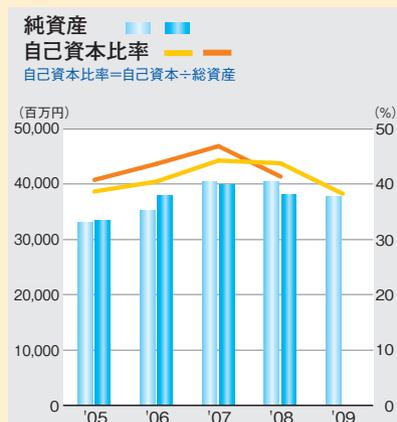
関東地区は唯一、対前年当該期比を伸長させております。これは他の地区と同様に官民ともに建設需要の減少は著しくありましたが、羽田空港等大型プロジェクト工事が続いていること、グループ各社の営業的な相乗効果が表れたためであります。

また、同事業分野における当該連結累計期間の販売売上は、国内向け販売についてはレンタル同様、関東地区で大幅に伸長しましたが、その他の地区では減少したこと、海外向け中古機販売は中古機市場動向、為替動向を考慮した当初計画に沿って売却台数をコントロールした結果、同29.1%減となりました。

これらの結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は300億25百万円、営業利益は9億36百万円でした。

グラフで見る5年間(連結)

■ = 第2四半期累計(中間) ■ = 期末 ■ = 第2四半期累計(中間) ■ = 期末



鉄鋼関連事業

鉄鋼製品販売事業は、建築需要の見込まれた道央圏も一向に回復せず、当第2四半期連結累計期間の売上高は対前年当該期比14.3%減の23億38百万円、3百万円の営業損失となりました。

情報通信関連・その他事業

情報通信関連事業は、急激な不況によるユーザーの経費削減傾向にあったこと、メーカーの在庫調整などによる廉価なパソコンが出回ったことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は対前年当該期比16.7%減の2億27百万円、営業利益は16百万円となりました。

【特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況】

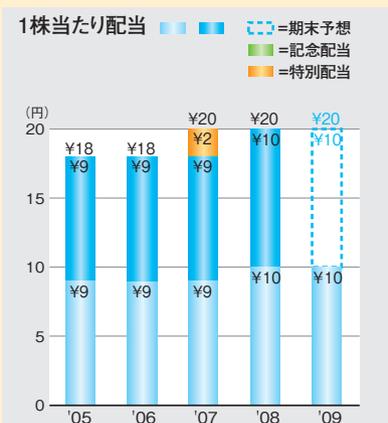
当第2四半期における拠点の新設閉鎖は、港北営業所（横浜市港北区）ならびに横浜機械センター（横浜市青葉区）の2カ所を閉鎖しました。また、株式会社九州建産の子会社である株式会社建産福岡を、九州建産が吸収合併しております。これらは営業、事務の効率化を目的に実施しました。

なお、第3四半期に入ってからではありますが、前述のとおり大阪中央営業所（大阪市此花区）を新設しました。同営業拠点は北港機械センターの移転開設のため、拠点数に増減はありません。

通期業績予想の修正理由（抜粋） 5月29日付で業績予想の修正発表をいたしました。

昨年度の一次、二次補正予算、そして新年度予算と、内需拡大策が矢継ぎ早に打ち出されましたが、これら公共事業が本格化するのには第4四半期後半に入ってからと予想されます。また、大型民間設備投資は未だ先の見えない状況が続いていることから、全国的に建設需要の回復は多くを見込めないものと思われます。事業環境の厳しさは当期末まで続くものと判断されることから期末業績予想を修正いたしました。

なお、業績回復に鋭意努力しておりますが、期末配当につきましては今後の業績推移の如何では変更する可能性もございます。



*2007年10月期の期末配当の11円のうち2円は増収益による特別配当です。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)	第44期中間期 (2007.11.1~2008.4.30)	第45期第2四半期(累計) (2008.11.1~2009.4.30)
① 売上高	37,236	32,590
売上原価	26,195	23,241
売上総利益	11,041	9,348
販売費及び一般管理費	8,123	8,427
② 営業利益	2,918	921
営業外収益	200	183
営業外費用	286	311
③ 経常利益	2,833	793
特別利益	43	29
特別損失	110	655
税金等調整前四半期純利益	2,765	168
法人税、住民税及び事業税	1,264	402
法人税等調整額	△37	△183
少数株主利益	62	93
④ 四半期純利益	1,476	△143

連結キャッシュ・フロー計算書

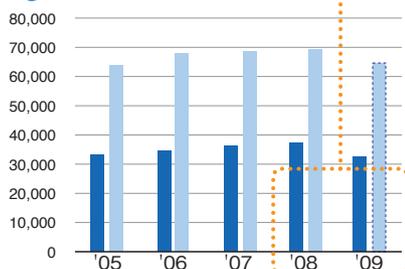
(単位:百万円)	第44期中間期 (2007.11.1~2008.4.30)	第45期第2四半期(累計) (2008.11.1~2009.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,134	2,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,649	△2,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	41	587
現金及び現金同等物の増加額	2,526	947
現金及び現金同等物の期首残高	17,213	17,566
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	680	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,420	18,538

Point

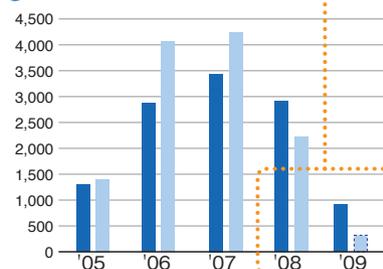
建設需要の減少に伴い建機レンタル需要が減少したことで売上高が減少し、業界内の競争激化やレンタル単価の下落などで営業利益、経常利益ともに減益となりました。

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予測値 単位:百万円

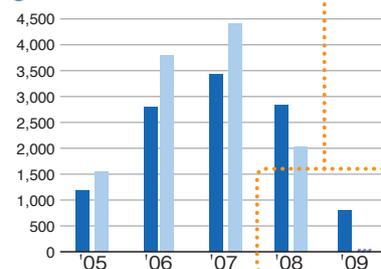
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



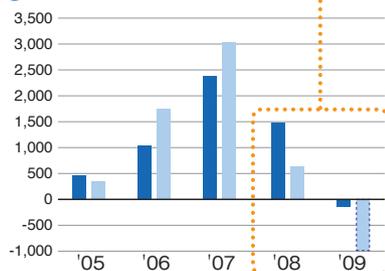
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第44期中間期末 (2008.4.30)	第45期第2四半期末 (2009.4.30)
(資産の部)		
流動資産	36,745	34,523
固定資産	55,009	63,261
有形固定資産	47,649	56,869
無形固定資産	1,089	853
投資その他の資産	6,270	5,538
⑤ 資産合計	91,755	97,784
(負債の部)		
流動負債	28,263	30,122
固定負債	22,954	29,839
負債合計	51,218	59,962
(純資産の部)		
株主資本	38,947	37,311
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	18,311	16,677
自己株式	△21	△23
評価・換算差額等	1,272	140
その他有価証券評価差額金	1,272	140
少数株主持分	316	370
⑥ 純資産合計	40,536	37,822
負債純資産合計	91,755	97,784

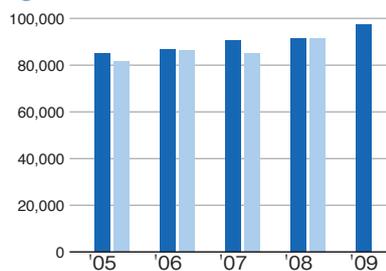
Point

営業利益、経常利益の減益に加えて、投資有価証券評価損586百万円を特別損失として計上したことが響き、当期純利益は143百万円の損失となりました。

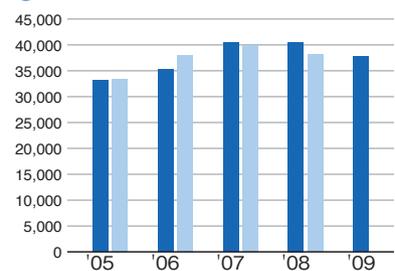
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



株主様からのご質問に答える

Q & A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。

ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

Q 業績が厳しいが、年間20円配当は継続するのか？

A 配当は、当社がこれまでに株主還元の第一義に掲げてきた「安定配当」を継続すべく、今期も年間20円配当(中間10円・期末10円)を計画しております。中間配当10円は、既に取り締役会で決議し、7月13日からお支払いを開始させていただくこととなっております。当社の通期業績は、小誌本号のP.5に記載させていただきました計画値のとおり、大変厳しいものになると予想しております。現在、業績回復に向けて鋭意努力をしておりますが、依然不安定な経営環境が続いており、今後の業績推移の如何によっては期末配当を変更させていただく可能性もございます。建設業界についてはいまだ不透明な環境にありますが、期末配当10円を継続できるよう、役職員一同、業績回復に向けて各地で需要の取り込みに努めてまいります。kca

Lineup 取扱商品のご紹介

今回は、当社の主力レンタルアイテムでもある仮設ユニットハウスに、壁面サインとして取付けることができる「ハウスウォールマグネット」(アシスト製)をご紹介します。

建設現場を明るくしたい。看板を出したいのにスペースがない。夏に向けてポップな雰囲気を作りたい。仮設ユニットハウスをご利用いただくお客様からいただく沢山の要望にお応えするのがアシスト社製の「ハウスウォールマグネット」です。

これまで、大型プロッタで印刷したシートを直接壁面に貼る方法がありましたが、問題は剥がし痕。そこで磁性ゴムシートを利用して、これを解決しました。使用後は丸めて保管でき、再利用も可能です。常時設置される売店用にご利用でしたら、春夏秋冬、雰囲気を変えるのも一考でしょう。お問い合わせはカナモトまたはアシストまで。kca

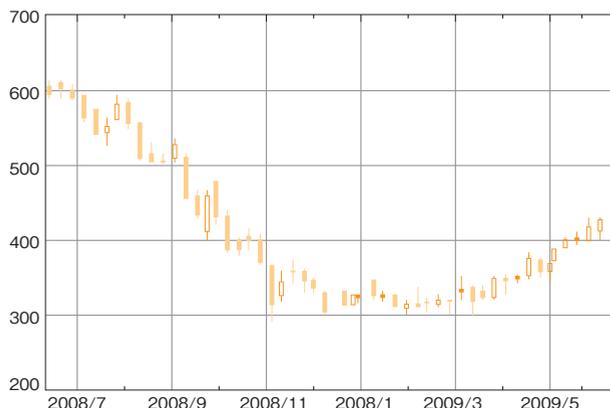


壁面サインとして宣伝効果を発揮するハウスウォールマグネット
(ご採用いただいた宮坂建設工業株式会社様のハウス)



本号の読者プレゼント欄で紹介した野村證券・Kさん作の坊や。こんなに可愛がってもらえるなんて痛み入ります。

株価チャート (週足)



株主メモ (2009年4月30日現在)

資 本 金	96億9,671万円 (払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株 (発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
公 告 の 掲 載	当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>)または<http://www.kanamoto.ne.jp>に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同郵便物送付先及び電話照会先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株価および売買高 (東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2008年6月	650	656	587	599	1,917
7月	601	601	528	559	1,001
8月	579	585	500	527	754
9月	510	516	400	427	1,456
10月	435	439	291	314	3,705
11月	325	372	320	336	1,314
12月	329	335	301	326	818
2009年1月	345	345	302	313	1,011
2月	314	335	302	320	616
3月	330	352	300	333	882
4月	328	383	328	358	935
5月	363	429	362	416	625

株券の電子化についてのお知らせ

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されている「Q&A (<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>)」等をご参照ください。また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

「株券電子化」なんでも相談窓口 (株券電子化コールセンター)
TEL.0120-77-0915 (フリーダイヤル 平日・土曜 / 9:00~17:00)

※株券電子化コールセンターは、株式会社証券保管振替機構、日本証券業協会、株式会社東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

● 編集後記 ●

第2四半期連結決算は、努力虚しく純損失となってしまいました。申し訳ありません。今期厳しいのはどこでも一緒、それより来期の回復に期待しているぞと、お声掛けいただいた投資家の皆様のご期待に添えるよう、役職員一同頑張るのみです。

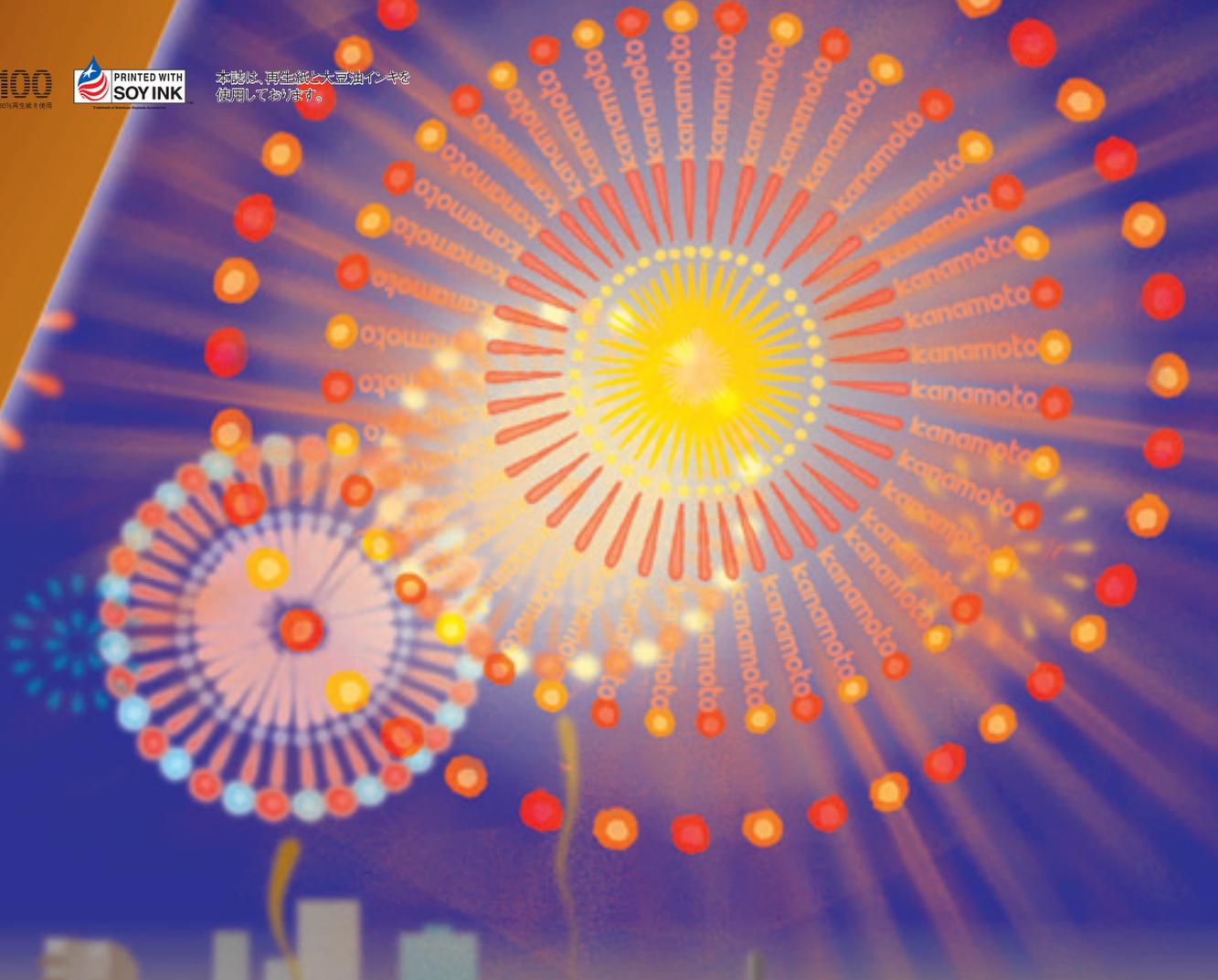
ところで、かつての世界恐慌より深刻と言われた今回の世界同時不況ですが、早々に在庫調整がなされ、マネーもグローバルに回り始めるなど回復の兆しが見えてきたようです。二つの不況の違いはITによる情報処理の早さ。同じなのは庶民に付けを回されたこと。地方では有力企業の清算に有名人百貨店の撤退が相次ぐ惨憺たる状況で、底を打ったといわれてもテレビの向こうのトーカーだけが浮かれて見えます。

このような環境で就職戦線に少々異変が起きているようです。不況の時は公務員というのは今や昔、農家を指す若者が増えているとか。日本の未来を担う若者が離農を余儀なくされた諸先輩と同じ轍を踏まないように、一日も早い政治復興と明快な政策を願うばかりです。☞

R100
100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と大豆油インキを
使用しております。



株式会社 **かなもと**

(東証一部・札幌 証券コード: 9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel : (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp